

## 5月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和5年5月2日(月)

午前10時30分～

地域交流センター第3・4研修室

**出席委員** 職務代理 小山正文 委員 高野羊子  
委員 宮下温子 委員 小松小百合

**出席職員** 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫  
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明  
次長 臼井太津男 主任 高野智弘

### 一 開会(臼井教育次長)

令和5年5月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

### 二 教育長挨拶(加瀬教育長)

**教育長:** それでは引き続きまして定例教育委員会よろしくお願いたします。総合教育会議ありがとうございました。総合教育会議は、9月の終わりもしくは10月初めごろに1回と、年度の最後に1回行います。3回予定しております。ここまで1カ月が過ぎて順調なスタートがそれぞれ切れたのではないかと思います。私も年度当初に職員の皆様にお話をさせていただきました。保育園の状況をお聞きし、見させていただきました。本当にありがとうございました。何かといろいろありますけれども順調なスタートを切れているかと思います。今日の総合教育会議で大綱が決定をしました。村の具体的な方針に沿って進めていきますのでよろしくお願いいたします。先ほど申し上げましたが、今年はいろいろなところを見ることができればいいかなと思います。まずは義務教育学校を一回見ておきたいと思います。保小中一貫というような形で進め、これが義務教育学校になるかどうか今後先のことではありますが、一貫してやっていく具体的な姿でありますので、そういったところを見ることができればいいかなと思っています。具体的には美麻、信濃のあたりのところを考えていきたいと思っています。時期等についてもこちらで計画をさせていただきたいと思っています。

教育大綱が令和5年から9年までの5年間ということになります。冒頭

に申し上げた通り、年度ごとに見直しが必要な部分については、見直していきたいと思います。多くのことがあります、ダイジェスト版のところに入れているような具体的な内容で進めていきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

それでは本日の定例教育委員会を進めていきたいと思います。以上でございます。

### 三 報告

#### 1) 教育長報告

**白井次長:** 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

**教育長:** 冒頭に話をしました通り、これから具体的に進めていきますのでお願いします。今のところは、協議会の内容にかえさせていただきたいと思いません。以上です。

**白井次長:** 只今の報告についてご意見等ございましたらお願いします。続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

#### 2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

**高野CO:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**白井次長:** それでは続いて保育園長報告に移ります。

**塚原園長:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**高野委員:** 保育園に看護師さんはいらっしゃらないのですか。保健室はありますか。

**塚原園長:** 看護師はいません。保健室はあります。職員室の一角にあります。使用するのは熱を出した場合や、咳のひどい場合です。また、お迎えが1時間以上かかるとか、すぐに来られない場合には私が見ています。

**高野委員:** 看護師さんとかが週に1回くるとか、巡回に来るとかありますか。

**塚原園長:** 巡回はないです。来るとすれば保健師さんになります。何か健診の時などに来ることがあります。

**高野委員:** 困ることはないのですか。保育士さんと園長先生だけで見られますか。

**塚原園長:** 保育園は集団の場なので、保育園では病気の児を見ることはできません。

先ほどもお話ししましたが、病児保育ということで別の場所で見てくださいました。重症の時はもちろん見られませんが、症状が改善してもまだ保育園や学校では、見る事が出来ないという場合に見てもらえる場所があるとよいと思います。基礎疾患をもっているお子さんやアレルギーのお子さんが、このようになった場合には救急車を呼ぶとか、保護者に連絡をとっていますので、看護師さんが常駐しなくても対応はできています。

**高野委員：** 子供たちを安心して預けられる場所は必須かと思います。看護師さんがいる、もしくはすぐに来てもらえるシステムを要望します。まずは小さい子供から必要ではないかと思います。

**白井校長：** 病児保育がイメージできませんが、具合が悪くなった子供については、家庭で見えていくことが大事だと思います。自分の仕事を優先するあまり、ここに出しておけば私は仕事できて、子どもも何とかなるという思いもあるのかと思われまます。子供の側から見れば、親が面倒を見てくれるのが、一番安心するんだらうと思います。そういう場所があることは大切なことだと思います。親の意識としては、やっぱり親が見ることが一番だと思います。それに加えて、具合が悪いときには、やはりお母さんたちが見るんだらうなと思います。自分もそうでしたが、仕事を持っているこの親父たちは、「俺は見られないからな」と言って奥さんのところへお願いして、奥さんが困ってしまい「どうしましょう」というケースが多いです。男親の育休があるので、夫婦で分担しながらできるとよいと思います。病児保育の理解について、家庭で見られないから全部病児保育へ任せるとなると、本末転倒かと思います。自分の子供を育てるのは、自分たちが頑張ることを大原則としていくことが大事ではないかと思います。

**塚原園長：** 内容の周知はしっかりしないと思います。お母さん方かよく言うのは「仕事を休めないのをお願いします」と言って朝連れてきます。職場に電話してもらえれば、休みやすいということがあるようです。

**白井校長：** 親が休みやすい環境をそれぞれの職場が、ちゃんと理解してもらえりょうな状況でないと、今後の子育て支援の充実などについても伝わっていかないと思います。

**宮下委員：** サークルタイムは初めての試みかと思いますが。

**塚原園長：** 最近はよく言われて取り入れられています。最初は、うまく話し合いが進まなかったり、1人で喋ったり、あるいは一言も喋らなかったり、そういうこともありました。でも保育士が見守っていて、その話し合いに行き詰った時に、お助けカードを出させるようにしています。

みんなで話して決めたことは、保育士が「これやるよ」と言った時よりも断然盛り上がります。自分の口で伝える。人と人とのつながりを大切にすることを考えています。

**宮下委員：** 言葉をまだ覚える時期だというのに、自分の意見を言い合えることは、

小学校へあがってからも心強い活動ではないかと思ひます。

**白井次長:** それでは続いて小学校長報告に移ります。

**伊藤校長:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**小松委員:** 前回の定例会の後、塚原 PTA 会長の話を聞かせていただきました。児童数、家庭数、保護者の働き方などから PTA 活動に対して多少見直しをしてきたい思ひがあるようでした。皆さんと相談しながら進められればよいということをお話ししました。

**白井校長:** 評議会があった時に、会長さんから「これから PTA どうなりますか」と質問がありました。麻績村小中一貫でコミュニティースクールが新たに立ち上がるので、その中で保護者のつながりを作っていくのはどうですかと提案をしました。小中合同の懇談会にしてもらえるとありがたいと思ひます。

**教育長:** わかりました。

**白井次長:** それでは続いて中学校長報告に移ります。

**白井校長:** (以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 保育園長、小学校長、中学校長それぞれからご報告いただきましたが委員の皆様からご質問等ありますか。それでは報告を終わります。

#### 四 協議事項

##### 1) 5月8日以降のコロナ対策について

**教育長:** 5月8日以降コロナ対応も変わってきてますけれども、県全体から出されている資料があます。

**白井次長:** 基本的にはこの28日の文科省から出されております学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の中に具体的に書いてありますので、この方向はベースになるかと思ひます。学校で児童生徒や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインのとおりになる気がします。4月14日付で子ども家庭庁から出されております保育所における感染症対策ガイドラインの一部改訂についても、まだ確認できていないところがあります。基本的には学校の部分と連動していく気がします。村独自という形もありますが、基本的にはこのラインベースあるいは県から出されるものがベースでいいかと思ひます。

**教育長:** 説明のとおりまだ正式なものではないのですが、対応で何かそれぞれのところがございますか。

**塚原園長:** 保育園は示されたものが少ないので、家族が罹患された場合にはお知らせ

せいただくようになります。保小中同じような形の文書を出していただくとより周知が行き届くと思います。

**教育長:** 前回と同じような形で統一したもので考えています。小学校特に何かありますか。

**伊藤校長:** 一つは、教室の席が離れて個別になっていますが、そろそろくっつけたいと思っています。もう一つは、出席停止と病欠の判断の基準があいまいで学校間でもバラバラだったようです。小学校では風邪なら病欠だし、コロナだったら出席停止です。心配だから休む場合も出席停止という形になっています。風邪といった時に、医師の診断が風邪であれば病欠でよいのですが、親が風邪だと思うという場合に病欠にするのか出席停止にするのかが曖昧です。

**白井校長:** これまでの流れを受けながら、その時の様子を見ながら変化させていこうということで、5月8日以降大きく変えることはありません。

マスクについては「とってもいいですよ」ということにしています。給食については、しばらく1カ月ぐらいは前を向いてとします。検温についても5月いっぱい継続します。コロナが全部収束したわけではないので、対応は変わってきますが、この1カ月もしくは1学期ぐらいをかけて徐々に整えていきます。

**教育長:** コロナが無くなったわけではないので、感染予防に関してはやはり慎重にやらなければいけないだろうと思います。それぞれ対応お願いします。

## 2) 小中学校合同職員会議（5月11日）時の中学校施設確認について

**白井次長:** 先ほどの学校の報告からも、合同職員会議あるいは、小中連絡会で話がありましたが、教育委員さんもお都合つく方につきましては出席願います。ちょうどよい機会であります。中学校の施設を見たり、課題等のお話ができたりと思っております。

**白井校長:** 5時間目は、授業参観がありますので、このあたりで来ていただけたらと思います。

**白井次長:** 5時間目の授業参観から可能という扱いでいいですね。

**白井校長:** はい。筑北中学校案内を教頭が2時半くらいからやるので、ご都合つけて中学校にお越しいただければと思います。

**教育長:** 改めて通知を出したいと思います。11日の件はよろしいでしょうか。

## 3) 保育園・小中学校行事等における来賓の考え方について

**教育長:** 今後の保育園小中学校行事等において、来賓をどのようにしていくか。歩調を合わせていきたいと思いますがいかがでしょうか。

**白井次長:** まず入学式については、来賓を絞って呼び出した経緯があります。村として、あるいは保小中のなかでは、ある程度線引きをして決めたら良いのではと考えております。

**教育長:** どうでしょう。来賓として呼びをすところの線引きを基本的には、代表の方に絞っていきたいのですが、いかがでしょうか。

**宮下委員:** 保育園は、スペースの問題がありますよね。来賓の方が後ろまでいます。イベントは、いろいろな方に見てもらうのはよいと思います。式は、ある程度代表の方でよいのではないのでしょうか。

**教育長:** 基本的には、これまでの状況で入れてもいいと思います。感染予防のスペースがとれるかどうかの問題だと思います。

**白井校長:** これまで通り区長さんや駐在さん、それから農協の方については結構かと思えます。

**教育長:** 基本的な感染対策を最優先にしなければいけないので、基準をこちらで考えます。行事によっても違うと思います。こちらにお預けいただいて、方向を出したいと思えます。代表の方のみとし、今までの形を基本にしなからということになります。ありがとうございました。

## 五 その他

### 1) 各委員から

**教育長:** 各委員さんからございますか。よろしいですか。

### 2) 事務局から

**教育長:** 事務局より連絡事項をお願いします。

**白井次長:** 令和5年度の放課後子どもプランの日程をあげさせていただきます。令和5年度おみっこ元気くらぶと放課後子ども教室のご確認をお願いします。放課後子どもプラン運営委員会を開催して、委員さんの中から、今まで具体的な事業内容を知らなかったという委員さんもありました。そこで、多くの方に来ていただきたいと思えました。また事務局としては、保護者の方にも、子供たちと一緒に参加してもらいたいので、周知していきたいと思えます。麻績キャンプは、今年は宿泊キャンプになります。通学合宿ですが、例年11月開催でしたが、今年は9月18日から20日の2泊3日に変更しました。場所はテレワークセンターになるので、ある程度の密になってくるかなと思えます。そのようなことから、今回は短期間で実施いたします。一緒に参加していただきまして、子供たちの様子を見ていただければと思えます。以上です。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 6月1日(木) 午前9:30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして5月の定例教育委員会を閉じます。